

近代日本文学を楽しくよんでみよう。

Let's read the japanese modern literature

科目提供大学名	大手前大学
担当教員	柏木 隆雄 (大学院比較文化研究科客員教授)
単位数	2単位
最大授業定員	54名
開講学期	後期3時限 (15:30~17:00) 水曜日 (9月26日~1月16日、12月25日~1月7日は冬休み期間)
成績評価	成績評価は、原則として筆記試験 (定期試験) を行わず、出席、平常テスト、レポート、授業中発表等、授業期間中の成果をもって、総合評価を行う。
テキスト (特記事項参照)	柏木隆雄 『こう読めば面白い! フランス流日本文学』 大阪大学出版会 2017
参考文献	柏木隆雄 『交差する眼差し—日本近代文学とフランス—』 朝日出版社 2008
授業以外の学習方法	参考文献や授業中に取り上げられた作品およびその作家の他の作品についても読んでおく。
その他の特記事項	テキストは開講初日に価格2000円で配布します。
講義概要	日本近代文学の大きな流れをみるために、子規、逍遙、藤村、菊池寛、三好達治、太宰治などの作品の代表的な、あるいはあまりこれまで十分に分析されてこなかった作品について、詳細な分析を行う。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正岡子規の自筆墓碑銘の解読 2. 子規の有名な「藤十首」について分析する 3. 坪内逍遙の『小説神髓』と馬琴理解 4. 馬琴の「稗史七則」と逍遙の理論 5. 島崎藤村の『破戒』の成立について 6. 『破戒』とルソーの『告白』との関係 7. 藤村の自伝的文学と『新生』の中のルソー 8. 菊池寛の短編小説の特色 9. 菊池寛の新聞小説『真珠夫人』について 10. 『真珠夫人』とバルザックの短編小説の関係 11. 黒澤明の映画をバルザック小説の観点から見る その1 12. 黒澤明の映画をバルザック小説の観点から見る その2 13. 三好達治の詩の代表作を読む その1 14. 三好達治の詩の代表作を読む その2 15. 全体のまとめ